

太陽

日	赤 經	赤 緯	視直徑	星 座
8	12時51分3秒	南5度28分	32分 5秒	をとめ
18	13時28分1秒	南9度13分	32分10秒	をとめ
28	14時5分57秒	南12度45分	32分16秒	をとめ
(7)	14時45分6秒	南15度58分	32分20秒	てんびん

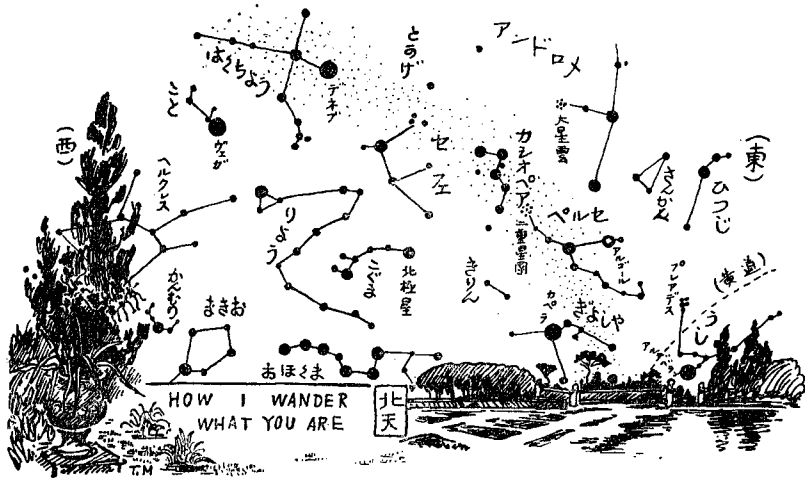
太陽は月始め天秤宮にあるが、二十四日より天蝸宮に侵入する、日の出は、一日五時五十一分、十一日五時五十九分、二十一日六時七分、三十一日六時十六分、日の入りは、一日五時四十三分、十一日五時二十九分、二十一日五時十六分、三十一日五時五分、十一日夜に部分日食があるが夜だから我國からは見られない。見えるのは南アメリカの南半部のみ。

月

月の相	時 刻	視直徑	星 座
下 弦	5日午前5時15分	31分10秒	ふたご
新月(日食)	11日午後10時6分	33分24秒	をとめ
上 弦	18日午後6時20分	30分34秒	いて
満 月	26日午後10時34分	29分34秒	ひつじ
近地點通過	11日午後1時30分	33分27秒	をとめ
遠地點通過	24日午後1時54分	29分26秒	う を
降交點通過	11日午前3時24分	33分25秒	をとめ
昇交點通過	24日午後4時18分	29分27秒	う を

月の出は、一日午後七時四十八分、六日(なし)、十一日午前四時三分、十六日午前十一時二十四分、二十一日午後二時五十五分、二十六日午後四時五十一分、三十一日午後八時五分。

月の入りは、一日午前九時四十五分、六日午後二時二十七分、十一日午後五時十四分、十六日午後八時四十七分、二十一日午前〇時五十六分、二十六日午前五時四十分、三十一日午前十時四十一分、



恒星界

仲秋の名月は、今月二十六日の満月の夜である。

「名月や、池をめぐりて、よもすがら」

只に、星を愛づる者のみではない。昔から風流人は

冴え渡る秋の夜に、虫の聲を聞きながら

涼風を身に受けて、月見の宴を張つたのも道理である。

實に月見の宴は、止めたくない行事の一つである。

銀河は西南から、東北に延びて、その南部を占むる

「いて」座には、遊星界の大立物、土星が輝き、
「わし」、「たて」、「へび」、「へびつかひ」、「ヘルクス」、「まきを」

などの、夏に親しみ深かつた星座は、既に、早や、
西へと傾き、今や子午線を通過するものは、

「みなみうを」、「みづがめ」、「ペガス」、「とかげ」、「セフェ」
などであり、「おほくま」の北斗七星は地平線に近いが、

「アンドロメ」の星霧は見頃となつて來た。

